

2016年12月
(No.21)

あこう社協だより



シリーズー地域を知るー

第3回～自分らしい生活～ 2P

平成28年度 福祉作文入賞者決定!! 4P

まち発見! あこう福祉ニュース 7P

福祉サービスの利用で困ったことはありませんか? .. 8P

～サロン紹介～ 本水尾サロン 10P

あこうのホッとな人 No.9..... 11P

社協ヘルパーの「ワンポイント介護」No.9 12P

11月20日(日)、福祉会館全域において「第34回し・あ・わ・せフェスティバル～フクシふれあいまつり～」が開催されました。

ボランティアグループなどの福祉団体による模擬店やバザーのほか、ふれあい映画上映などの催しが行われ、たくさんの笑顔が見られた祭りになりました。



「あこう社協だより」は、赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。

シリーズ 地域を知る



第3回

～自分らしい生活～

(前回より)

現在、家族や社会の変化によって問題となっているのが、引きこもりや孤立死、虐待、自殺などの深刻な生活課題です。

その状況を解決するためには、住民同士の「お互いさま」の助けあいに、社会から孤立する前に、気軽に助けあえ、気付きあえる関係を作っていくことが大切になってきます。

そのような関係をつくるためには、家から一歩踏み出し、何かの活動に参加することが大切です。生活のハリや人とのつながりが生まれ、認知症や歩行障がいなどのリスク、引きこもりや孤立死など、社会問題の解決にもつながっていきます。

自分らしく
って何？

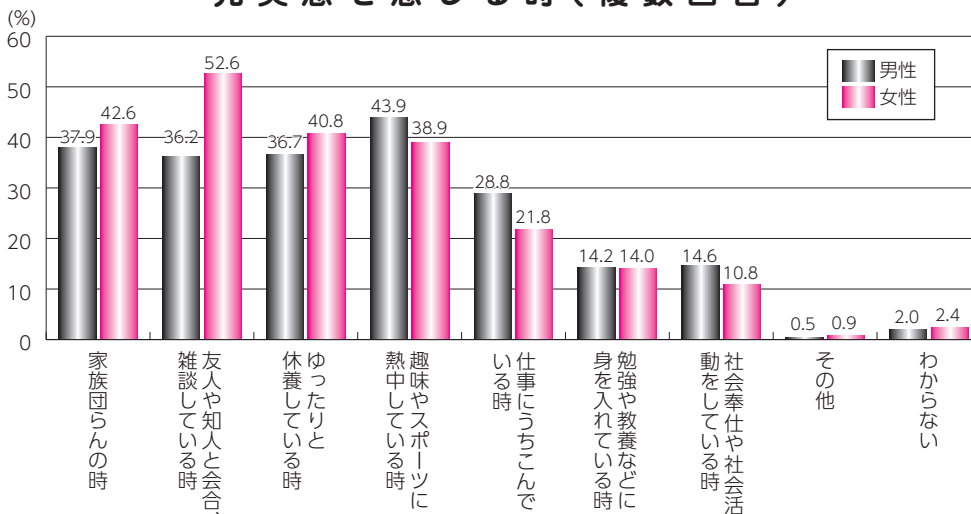
あなたは、「あなたらしいね」とか「あなたらしくない」と人から言われた時に、意外な感情を抱いたことはありませんか？また、自分で考えて行動したはずなのに、「自分らしくなかったな」と反省したことはありませんか？

「自分らしく」とは、まずは「自分を好きになれること」「自分のことが好き」と言えることではないかと思えます。

何をしている時、「いい笑顔してるね」「いきいきしてるね」と言われますか？おそらく、自分の好きなことをしているときが多いのではないのでしょうか。



充実感を感じる時(複数回答)



資料:内閣府「国民生活に関する世論調査」(平成27年)より作成 ※対象者は60歳以上の方

自分らしく 発揮する

左記の調査では、男性は「趣味やスポーツに熱中している時」(43.9%)、女性は「友人や知人と会合、雑談している時」(52.6%)が最も充実感を感じている人が多く、男女ともに「家族団らんの時」(男性 37.9%、女性 42.6%)と続いています。

あなたが充実感を感じるときは、どんなときでしょうか？

今回は、「自分らしく」生活を楽しんでいる、お二人のお話を次ページにまとめました。人によって楽しみ方はさまざまです。

皆さんも自分の楽しみをきっかけにして、地域へ出かけていきましょう。

「今さら」ではなく「今から」

司波 多聞さん(68歳) 一上飯屋南一

「暇だなーと言っている時間はもつたいない。一歩出て、どこかで人と話す。それだけで何か得るものが絶対あるはずです。」と話す司波さん。七十歳を目前にして、今を生きることに全力です。



月2回、助けあい活動の一環で、下校時の見守りをしています。



がら、聴いてくれる人との「このころのキャッチボール」。「自分の持っているもので、喜び、楽しんでくれる人がいることは、とても生きがいになっています。また、一緒に活動している仲間の存在も大きく、私の生活には欠かせません」。

司波さんの好きな言葉に、『過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる』があります。この言葉を胸に、今日も家から飛び出します。



長田さん(写真左)とジム仲間の人たち。

好きなことを一生懸命

長田 幹子さん(67歳) 一正保橋町一

「周りから『忙しそうね』と言われるけれど、全然そんなことないんですよ。」と話す長田さん。退職後、健康のためにジムに通ったり、コーラスやフラダンスの練習などをしながら、自然体で、充実した生活を送っています。

その中で多くの仲間と出会い、活動を越えたつながりが生まれています。ポイントには、「美味しいものを一緒に食べること」。

市内の飲食店はもちろん、



フラダンス仲間との思い出の一枚
(下段左から2人目が長田さん)

次回は
『人とつながること』
について取り上げます。

ときには日帰り旅行にでかけることもあります。『一緒にやっていると』という気持ちが絆を深め、仲間の輪も広がっています。自分の楽しみだけでなく、「孫がお世話になった恩返しに」と、交通安全協会の活動に協力しています。また、いきいきサロン陽だまりの三代目代表として、地域での役割も担っています。笑顔の長田さんの周りには、いつも地域の仲間がいます。

平成28年度 福祉作文入選者決定!!

身近な福祉活動をテーマにした作文を募集しましたところ、小学生、中学生、高校生、一般の方より昨年を上回る計763点の応募をいただきました。

慎重な審査の結果、次のみなさんが入選され、12月3日(土)に開催された「障がい者週間ともに考える市民のつどい」の席上で表彰されました。

(各部門大賞・特選・入選の方のみ。※敬称略)

【小学生の部】

大賞 後藤 詩歩 (御崎小学校6年)

特選 成林 廣忠 (尾崎小学校6年)

入選 堤 萌翔 (御崎小学校6年)

村上 ひかり (坂越小学校4年)

佳作 吉村 優心 (赤穂小学校5年)

後藤 莉音 (城西小学校6年)

西山 優羽 (塩屋小学校6年)

横峯 海斗 (赤穂西小学校6年)

廣岡 優弥 (尾崎小学校6年)

菅野 星菜 (御崎小学校6年)

古谷 匠 (坂越小学校5年)

西川 侑毅 (高雄小学校6年)

東 花結 (有年小学校5年)

柏木 水樹 (原小学校6年)

【中学生の部】

大賞 橋本 碧海 (赤穂中学校3年)

特選 山下 祐矢 (赤穂中学校1年)

入選 漆崎 萌々絵 (赤穂中学校2年)

佳作

岩間 風佳 (赤穂東中学校2年)

瀬尾 萌華 (赤穂中学校3年)

下脇 美都 (赤穂西中学校2年)

魚住 早英 (赤穂東中学校3年)

奥道 唯 (坂越中学校3年)

森口 太貴 (有年中学校2年)

【高校生以上の部】

大賞 伊多 貴世 (一般)

特選 尾崎 幸音 (赤穂高等学校2年)

入選 市谷 紗愛 (赤穂高等学校1年)

土井 美月 (赤穂高等学校2年)

佳作 今井 拓斗 (赤穂高等学校1年)

ご応募いただいたみなさまには、厚く御礼申し上げます。

入賞作品は福祉作文集にまとめ、市内の学校や各福祉施設にお届けするほか、社協でも配布し、広く福祉活動の場で活用させていただきます。

◆小学生の部 大賞◆

『私が考えた事』

御崎小学校6年 後藤 詩歩



今年の7月26日に神奈川県相模原市の障がい者施設で、19人死亡、26人負傷の平成に入って一番最悪な事件と言われた殺傷事件がありました。それに、障がい者だけを意図的にねらった犯行で、インターネット上での障がい者への偏見、差別を助長する書きこみまであったそうです。世間では批判の声が上がる中、犯人は「世の中には障がい者はいらない存在だ。逆に、感謝されてもおかしくない。」と意味の分からない事を言っているのを聞いて、私は同じ人間なのに、そんな事を言うのはどうなのかなあと思いました。障がい者をじゃまと思う人もいると思うけど、私は障がい者の方だからこそ分かる事もあり、人一倍苦労しているの、私は障がい者の方

だからこそ大切にすべきだと思います。

私は、この事件をきっかけに障がい者の藤原弘子さん・隆二さん夫婦のドキュメンタリー番組を見ました。夫婦共に、脳性まひがあります。弘子さんは口だけ、隆二さんは左手と口が動きます。初めて会う人は、とまどったりする人がいると思うけど、少し話すと何の問題もないそうです。

二人の夫婦は子どもがいます。私はびっくりしました。それは、重度の障がい者が家庭を持ち、子育てをするのはとても難しいのに、二人とも障がいを持っていて、二人とも自立のためには、多くの介護者が必要とし、今まで介護を通して関わった人は400人以上もいるからです。

私は隆二さんの言葉ですごく心に残った場面がありました。それは、「私は、自分の体を変えようとしな。世の中を変えらんだ。」です。私は、納得しました。障がい者は、自分を変えたくても変えられません。だから周りの人が障がい者の方に向ける姿勢を変えたら、もっと明るくより

よい社会になると私は思います。弘子さんも同じで、街を歩いている時に、通りすがりの人に、「こんにちば。」と必ず言っていました。それは、

「私は、ここに居ますよ。」と言う意味だそうです。それと

小さい子が弘子さんを見て、「あの人、なんであんなに乗っ

てんの。」と親に聞いているのを見ると、そばに行つて「お

ばちゃん一人で歩けへんねん。」

と言っているのを見て、障がい者の方は、少しでも早くみんなに慣れようとしているんだろうなあとと思いました。

私は、これを聞いて障がい者の方に対する気持ちが変わりました。最初は、障がい者の方は大変なんだろうなあと

人事だったけれど、今では、障がい者の方がどれだけ苦労しているかも分かり、こんな

私だけどこかの役に立てたらいいなと思いました。

私は、こんなに大変な思い

をしていると知ったので、障がい者の方をじゃまな存在なんて

思いません。それに、隆二さんが言っていた通り、「自

分の体を変えよう」としない。

世の中を変えよう」としない。

でも心の中でひびいていま

す。そして、周りの人の気づかいや協力が必要なので、私ができる事はしてあげたいです。



◆中学生の部 大賞◆

『ボランティアとは』

赤穂中学校三年 橋本碧海



「ボランティア精神を行動に移そう」これは、今年の赤

穂中学校福祉部の年間活動目標です。私は福祉部の部長として4月にこの目標を掲げ、

日々活動しています。

しかし、私自身数年前まではボランティアという言葉の意味さえよく分かってい

なかった気がします。「他の人がやってくれるからやらなくてもいいか」と思っていた私の心が動いたのは、先輩方が

行つたある活動のおかげでした。

それは、「エコキャップ運

動」というものです。私達は病気になる時、病院に行けば診察を受けることができ薬

ももらえます。また、最近では中学生までは薬代も含めて医療費は無料としている自治体が多いのではないでしょう

うか。このように、私達には医療を受ける権利があるので

す。しかし、世界には発展途上国を中心に「必要な医療

を受けることができない」という問題をかかえている国も

たくさんあります。そんな国の子供達のためにペットボ

トルのキャップのリサイクルで発生した利益を、ワクチン代

として寄付する運動が「エコキャップ運動」です。

私の中学校でエコキャップ運動を行始めたのは去年で

した。当時、福祉部の部長だった先輩も成功するか不安

だったと話していました。が、一生懸命呼びかけをし「お願

いします」と声を出している姿を見て協力したいと思い、

家にあつたキャップを全て持つて行きました。ここまで

活動の意味や、自分の思いを持つてボランティアを行つた

のはこれが初めてだったと思います。

みんなも発展途上国の人達のことを心配してくれ

たのか、この活動は初めてながら成功に終わり、たくさん

のキャップが集まりました。この取り組みを通して、単

純に「すごい」「こんな集まるものなんだ」「一致団結つてこういうことなんだ」と感

じ、これからも続けていきたいと思ひました。

そして、今年の7月、私は福祉部の部長として、エコ

キャップ運動を行いました。全校集会で何度も協力を呼び

かけ、通信も発行しました。そんな私の思いが届いたの

か、回収期間中、毎朝、同級生が「持つてきたで」「いっ

ぱい集まるとええな」「がんばれー」と私のところに持つてきてくれました。その姿

を見るたびに、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

集計してみると、回収期間が一週間と短い中、予想を

大きくこえる数えきれないぐ

らいの大量のキャップが集まりました。これで多くの子供

たちがワクチンを打つことができ、元気に生活できるんだ

と思うと、すごく感激しました。

この活動で、私はたくさん

権問題、命の大切さ、学校みんなの優しさ、協力すればできないことなんてない、ということ

です。全然興味がなかったボランティア。それが誰でもできる、今すぐにでも

できる簡単なことでもあり、とても奥が深いものでもある

ということを知りました。

「ボランティア精神を行動に移そう」これまで私が経験したことを踏まえた言葉で

す。ボランティア精神を持つただけではいけません。自分が

やってみたいという思いを持てばその思いを行動に移さな

いという意味がありません。ぜひ皆さんもやってみて下さい。

活動が終わった時の達成感は何とも言えないものです。また、自分の思いを貫き通すこ

とで自分の考えが変わり、視野も広がると思ひます。



◆高校生以上の部 大賞◆ 『弟が教えてくれたこと』

一般 伊多貴世



私の弟は妊娠八ヶ月の時、障がいがあると分かりました。無事出産したのもつかの間、すぐ手術が必要でした。頭に水がたまり、頭と体の大きさは同じ位でした。水頭症、無脳症に近い状態、染色体異常が原因でした。お医者さんが父に育てる自信があるかどうか確かめたかったんだと思います。

「ここで口を塞ぐ事も出来ませんが、どうしますか。」父はとても迷いました。弟を見て小さな手に触れた瞬間、力強く人差し指を握り返したそうです。父はこの子は生きたいって言っていると感じ、「この子を助けて下さい。」と、泣きながら言いました。

その時から数え切れない位手術を繰り返し毎日が生死と向かい合わせ、救急車が来

て病院に運ばれていくのが日常でした。父と母が深夜二人共出ていってしまう事があった時、心配と寂しい気持ちになったのを今でも憶えています。弟が二才になる頃に西宮のすなご療育園で暮らす事になり、毎週家族で会いに行くのが日課でした。抱っこすると大人しく、とても可愛いといつも思っていました。

弟は歩けない、話せない、自分でご飯を食べれない等出来ない事もありましたが、出来る事はたくさんありました。

好き嫌いもあり、流動食しか食べれないのにケーキはペロリと食べてしまったり、声で誰か分かって私達が来ると嬉しそうに笑ってくれたりしました。

夏休みの時は家に連れて帰れます。すごく嬉しい出来事です。それが難関があります。それは駅にエレベーターがありません。改札に行くには階段を下りて、登らなければいけません。弟の専用車イスはとても重たく、父と母と私ではとても運べません。でも困った事は一度もありませんでした。「お手伝いしましょうか。」

道行く人たちが必ず声をかけてくれました。その様子を見守り道を空けてくれる人、たくさんの方々のおかげで、温かい気持ちになった事は一生忘れられない出来事です。

遠足もあり、USJに弟と施設の方々と行きました。車イス専用ゲート、パレード見学席もあり、キャラクターが私達に気づき、たくさん身ぶり手ぶりで楽しませてくれました。スタッフさんの気遣いに感激し、すごく楽しかった思い出です。

弟は生まれた時、お医者さんから「命はもって5年」と言われていました。小・中高を卒業し、命の力強さを感じました。弟と過ごす時間はとても楽しくて、家族はいつも幸せでした。余命宣告はうそのようでした。

19才になった時、食べ物を詰まらせてしまったので気管切開をする事になりました。胃に直接栄養剤を入れる、それが食事になりました。弟が23才の年末、母から弟の呼吸が止まって、心臓マッサージのおかげで一命をとりとめたという電話を聞いて、慌てて会いに行きました。私がい

ので、安心してまた来るからね」と手を握りました。それが弟との最期の別れでした。年が明けてすぐ、弟が天国に行ったと留守電で聞き、何でもっと早く教えてくれへんかったと聞きました。父が兄弟の死を見るのは酷だという両親の気遣いでした。手の施しようがなくなった時、医師が、

「人工呼吸器付けますか。」の問いに、父は、

「もうたくさん痛い思いをして頑張ってきたんだから、楽にしてあげて。」と、言って呼吸がとまるまで傍でたくさん手を握り、お話をしたそうです。子供の死を見るのがどれほど辛かったか、今3人の母になり、これほど悲しい事はないと思いました。

弟が亡くなり、少ししてから、私は第一子を授かりました。弟が亡くなるまで、子どもは産まず、両親に何かあった時自分がお世話をして行くと思っていました。弟のおかげで周りへの感謝や命の大切さに気付きました。

私は何か出来る事はないのかと思っていた時に、NPO法人ママの働き方応援隊の赤

ちゃん先生に出会いました。教育機関で赤ちゃんを通して命の大切さを伝えるというプロジェクトです。生まれてくる命ってすごい奇跡で価値のない命なんて一つもない、生きてるだけでありがとうが一人一人の子ども達に届けば、いじめや自殺が減らせると思っています。その赤ちゃんを産んで育ててるお母さんもすごいんだとお母さんが自分を認めることが出来ると、虐待が減らせるとも思っています。

今日私に出来る事を毎日すること、一日一日を大切に出来ること、障がいを持った子どもが産まれた時絶対守ること、たくさんの人への感謝の気持ちを教えてくれたのは弟に出会えたおかげです。ありがとう。お姉ちゃんは今日も頑張るからね。





まち発見!



あこう福祉ニュース

「音楽の秋～サロンに金管バンドクラブがやって来た～」

11月23日(日)、つばき公園において、駅北サロン・駅北自治会主催による「赤穂小学校金管バンドクラブ演奏会」が行われ、約150名が参加しました。小学生の息の合った演奏や、会場を盛り上げる進行など、集まった地域住民を含む多くの観客が魅了されました。演奏会後は、手作りぜんざいが振る舞われ、心も身体も温まった一日となりました。

金谷芳紀自治会長は、「近くのデイサービスにも声をかけて参加してもらい、地域内はもちろん、外との“絆”も作れたのでは。」と話していました。

交流を通して育むつながり～三世代交流事業



11月20日(日)、松原町自治会主催による「交流もちつき大会」が行われ、200名を超える参加者が集まりました。つきたてのお餅を味わいながら、話に花を咲かせ、交流を深めました。

母親と弟の3人で参加した鷹 心羽(かまと みゆ)ちゃん(2年生)は、「きなこのおもちを2つ食べたよ。楽しかった。」と話していました。

11月23日(水)、東之町自治会主催による「ふれあいを楽しむ会」が行われました。参加した36名の参加者は、さまざまなレクリエーションを通して交流を深め、チーム対抗戦で行われた輪投げ大会では、寒空の下、応援にも熱が入り、輪の行方に一喜一憂しました。

夫婦で参加した高齢男性は、「簡単そうに見えて、なかなか入らなかったけど、楽しかったです」と話していました。



11月27日(日)、西町自治会主催による「防災」をテーマにした交流が行われ、83名が参加しました。山下自治会長の「今日はあいにくの雨だけれど、災害はいつ起こるか分からない。どんな環境にも備えることが大切。」という言葉の下、心肺蘇生法やクロスロードゲーム、防災用ベンチでの炊き出しなどを通して、防災への意識を高めました。

炊き出しを担当した男性は、「鍋が黒こげになってしまった。やってみないと分からないことが多い。」と話していました。

「あれ、どうだっけ？」

福祉サービスの利用で 困ったことはありませんか？

【お金のやりくりが心配】

年金はいくら入っているのかな？
電気代はいつ払ったかな？

【通知物の整理を 手伝ってほしい】

市役所から書類が届いたけど…
どうしたらいいのかな？

【通帳をなくさないか心配】

通帳はどこに置いたかな？
年金証書はどこにいったかな？

【福祉サービスの 使い方がわからない】

介護サービスをお願いしたいな…
どこに行けばいいのかな？



『日常生活自立支援事業』をご存じですか？

認知症や知的障がい、精神障がいなどが原因で、判断することに不安のある方などを対象に、介護保険などの福祉サービスの手続きや、お金の管理をお手伝いする事業です。

このようなお手伝いができます

この事業でお手伝いできることは、次の4つです。

- ①福祉サービスの利用に関する相談や助言
- ②金融機関でのお金の出し入れや、公共料金、福祉サービス利用料などの支払いなど日常の金銭管理に関すること
- ③郵便物の確認と、手続きが必要な場合のお手伝い
- ④紛失の恐れがある通帳や、印鑑・公的書類などの預かり

どうやって
手伝って
もらえるの？



まずはご相談ください！

まずは社協（☎42-1397）までご相談ください。担当職員（専門員）が自宅を訪問し、不安に寄り添いながら支援計画を策定します。その計画に納得していたければ、契約を行います。

契約後は、生活支援員が定期的にお手伝いを行います。
（契約前の相談や支援計画の策定までは、**無料**です。契約後、生活支援員のお手伝いは有料です。[1時間 500 円]）



あなたの生活を
サポートします！



歳末たすけあい運動

12月1日
スタート

～つながり ささえあう みんなの地域づくり～

「歳末たすけあい運動」は、地域住民やボランティア、まちづくり連絡(推進)協議会などの関係機関・団体の協力のもと、誰もが地域で安心して暮らし、あたたかい気持ちで新年を迎えられるよう、住民の参加や理解をいただきながら、福祉活動を重点的に展開するものです。

今年も皆さまのご協力をお願いいたします。

三世代交流もちつき大会

各地区で三世代が集い、交流もちつき大会を実施し、おもちを持って対象者のお宅を訪問します。



友愛訪問

ひとり暮らし老人・高齢者世帯などを対象に、お弁当やお菓子、お手紙などをもってお宅を訪問します。



三世代交流事業

高齢者と子ども、親など三世代が交流する事業に助成を行います。(審査あり)



歳末たすけあい運動で寄せられた募金は、上記事業のほか、「要保護・準要保護世帯児童生徒お年玉」「養護老人ホーム・児童福祉施設・障がい者福祉施設(市内)入所者たすけあい金」「赤穂精華園・さくらこども学園教材費」「生活困窮者支援」「ひとり親家庭ランドセル購入助成」などの事業へ配分されます。平成28年度は750万円を目標にしています。

サロンで活用してみよう!!

いきいきサロン実践講座 受講者募集

日 程 平成29年1月24日(火)
午後1時30分～3時30分
場 所 総合福祉会館 2階研修室
内 容 (1) 脳がよるこぶ! 笑顔が生まれる!
「シナプソロジー」体験
講師)健康運動指導士
平手 千秋 氏



(2) ちょっとひと工夫
美味しいコーヒーの入れ方講座
講師)ユーシーシーフーズ(株)
中 厚美 氏

対 象 いきいきサロンを現在運営している人
いきいきサロンを新しく始めたい人・
興味がある人 30名

参加費 無料

申込締切 平成29年1月10日(火)

申込先 社会福祉協議会 ☎42-1397

シナプソロジーとは?

「2つのことを同時に行う」「左右で違う動きをする」といった、慣れない動きをすることで脳に適度な刺激を与え、活性化を図ります。



災害ボランティア養成講座

平成28年は、「平成28年熊本地震」をはじめ、全国各地で災害が発生し、それぞれの被災地ではボランティアやNPOによる救援活動が行われました。

災害が発生していない日常生活の中から、災害時のボランティア活動について関心を持ち、自分に何ができるのか、この講座を通して一緒に考えませんか?



○日 程 平成29年1月14日(土)
午前10時～正午
○場 所 総合福祉会館 2階研修室
○内 容 『もしものとき! わたしたちにできること』
講師:NPO法人さくらネット
河田 のどか 氏

○募集人数 20名
○参 加 費 無料
○申込締切 平成29年1月6日(金)
○申 込 先 社会福祉協議会 ☎42-1397

～サロン紹介～ 本水尾サロン

11月26日(土)、連日の寒さを忘れるほどのぽかぽか陽気の中、集まった14名の参加者で、チーム対抗のグラウンドゴルフを行いました。

参加者の方が、「サロン開設当初から参加していますが、その中で休んだことは片手で数えられるほどしかありません。ここに来て、多くの方と何気ないお話ができることが楽しいです。」と話すように、どんな時でも話が尽きません。

本水尾サロンでは、楽器演奏、塗り絵、料理など毎回違った内容で行っており、男性の参加者が多いのが特徴です。

「個人個人が主体となることで、サロンは成り立っています。」と代表の山下さん。それぞれの要望を取り入れながら、気軽に足を運んでもらえる居場所づくりを参加者全員で目指します。

本水尾サロン

- 開催日：毎月第4土曜日 10時～12時半
- 場 所：本水尾町集会所



福祉用具ご利用ください

社会福祉協議会では、身体の不自由な方や、病気やケガなどで日常生活に支障のある方を対象に福祉用具の貸し出しを行っています。ぜひ活用してください。



車いす



ポータブルトイレ



シャワーキャリー

その他
・歩行器
・電動ベッド
があります。

○対象者

- ・病気やケガで一時的に使いたい方
- ・旅行に行く時に使いたい方
- ・自宅での介護に使いたい方 など

○費用

- 無料(電動ベッドは自己負担有)
- ※原則修理費用は自己負担

○手続き方法

- 社会福祉協議会の窓口にて、申請書を記入してください。
- ※申請者(窓口に来た方)の印鑑をご持参ください。

○使用期間

- 原則、1回の申請で6カ月間使用いただけます。それを超えて使用したい場合は、更新手続き(6カ月ごと)が必要となります。

○問合せ

- 社会福祉協議会(☎42-1397)

厚生労働大臣表彰 (社会福祉功労者)受賞

11月11日(金)に開催された「平成28年全国社会福祉大会」において、共同募金運動70周年の節目に当たり、共同募金運動の奉仕団体として永年にわたり率先して活動し、社会福祉推進に顕著な貢献をされている団体に特別表彰が贈呈されました。

被表彰団体の皆さまに厚く御礼申し上げます。

共同募金運動奉仕団体・特別表彰(敬称略)

赤穂市自治会連合会
赤穂市民生委員児童委員協議会

★サンタクロース衣裳 好評貸出中★

◆貸出期間 ◆対 象

12月1日～12月28日の間の最長4日間
市内の保育所、幼稚園、福祉施設、福祉団体、いきいきサロンなどの団体

◆利 用 料 ◆セット内容

無料
帽子・上着・ズボン・ベルト・ヒゲ・プレゼント袋・靴

◆申 込 方 法

社協窓口にて申請書を提出
(電話での仮予約可)

◆申込・問合せ

社会福祉協議会
(☎42-1397)



～あここのホッと人～

No. 9

9回目の今回は、さまざまなボランティア活動を30年にわたり続けている若狭さんにお話を聞きました。

Q. 活動を始めたきっかけは？

A. 息子が高校を卒業して手が空いたときに、それまでお世話になった方に恩返しをしようと思ったのがきっかけです。現在は、デイサービス「わたしんち」と「えがお」に週一回訪問し、利用者さんとお話をしたり、ドライヤーかけをしています。

Q. 活動をしていて嬉しかったことは？

A. ボランティアで関わる方の元気な笑顔を見ることが、一番の喜びです。大人も子どもも関係なく、「人」が何よりも好きなので、関われる一瞬一瞬にとても幸せを感じます。また、皆さんとお話の中から学べるものがたくさんあるので、毎回勉強させてもらっています。

Q. これからの目標は？

A. 社協の生活支援サポーター養成講座を受けて、地域に貢献したいという気持ちが沸いてきました。大きなことはできないけれど、「地域の人に声を掛ける」など、小さなことからまず一歩、踏み出していこうと思います。



～出会いに感謝～
若狭信子さん（中広）

あなたのやさしさを善意の窓口へ

善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました
預託状況（11月1日～11月30日受付分）

赤穂市善意銀行
マスコットキャラクター



ぜんい君 こころちゃん

●委任預託

（敬称略）

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
目 坂	木 本 善 典	100,000	亡父(長司)満中陰志
新 田	匿 名	1,264	福祉のために
	匿 名	5,000	車椅子借用御礼
	匿 名	5,000	車椅子借用御礼
	匿 名	10,000	亡母満中陰志
上 郡 町	三 上 芳 範	15,000	福祉のために
御 崎	匿 名	20,000	福祉のために
中 広	社協職員一同	22,780	しあわせフェスティバル売上金
東 有 年	西 山 稔 郎	10,000	福祉用具借用御礼
相生市双葉町	妙 修 寺	雑巾100枚	福祉のために
ボランティアグループ	てんとうむし	4,003	しあわせフェスティバル売上金
	赤穂市いずみ会	10,000	しあわせフェスティバル売上金

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

賛助会費ありがとうございました（敬称略）

【個人】匿名1名

福祉の拠点をみんなで支えてください。

（法人会費：5,000円、個人会費：2,000円、一般会費：500円）

賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかいご援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

心配ごと相談所のご案内 （12月21日～1月11日まで）

【一般相談】 12月28日（水） 1月11日（水）

【弁護士相談】（要予約） 12月21日（水）

【カウンセラーによるこころの相談】（要予約）
12月28日（水） 1月11日（水）

※時間はいずれも午後1時～5時までです。

※相談は無料。

※12月14日（水）はお休みです。

◎それはある日突然やってきた。今年の7月、「拾ってきた。」と息子が手を広げると、小石か？と思うほど小さくて真っ黒な子猫だった。「俺が猫の世話をする。お小遣いからミルク代や病院代も出す。受験勉強も今まで以上に頑張るから飼ってください。」と頭を下げる息子。「これも何かの縁やろ。」とのん気な夫。元の場所に戻すことが最善だと思っていた私も、子猫と目が合ったような気がした瞬間、名前何にしよう！と結論が出た。

その日から息子は受験勉強と4時間毎の哺乳。想像以上に大変なようだった。が、投げ出さずに全一で世話をし続けた。受験の日が近づき、緊張している息子の傍でぴったりと寄り添う子猫はお守りのよう。家を出る姿を窓から見上げる子猫と、静かに空を見上げる息子が空を飛ぶように訪れることを心から願っている。

（いこちゃん）



正規職員募集

職種	人員	受験資格
専任職員 (事務職)	1名	昭和56年4月2日以降に生まれた人(平成29年4月1日における満年齢が35歳までの人)で、社会福祉士資格を有する又は平成29年3月までに同資格を取得見込の人

◎採用試験 日時：平成29年2月4日(土) 午前9時から
場所：総合福祉会館 2階研修室
内容：教養試験・作文・面接
◎受付期間 平成28年12月19日(月)～平成29年1月31日(火)
午前8時30分～午後5時(土日・祝日を除く)
◎申込方法 当社協指定の履歴書に必要事項を記入のうえ、
社会福祉協議会まで持参してください。(郵送不可)
◎問い合わせ先 赤穂市社会福祉協議会 ☎42-1397)まで

社協ヘルパーの ワンポイント介護

No.9

※ 今回のテーマ ※

“オムツ交換②”

～お家での介護、
困っていませんか？～

今回はオムツの交換のコツを紹介します。体型が人によって違うように、オムツの当て方も体型や体位、生活パターンによってさまざまです。最適な方法を考えましょう。

尿漏れ防止のコツ

～パッドを上手に使いましょう～

男性用



1回の尿量が多い方は下部を開けてみましょう。下のオムツに吸収してくれます。

尿とりパッドを「筒状」「円錐状」にし、陰茎を包みましょう。

女性用



1回の尿量が多い方はパッドを「じゃばら折り」にして当ててみましょう。

↑じゃばら折り

【共通】



隙間ができないように。(指一本分のゆらみ) ウエスト周りに隙間がある時は上側のテープを下向きに、足回りに緩みがある時は下側のテープを上向きに止めましょう。



ギャザーは足の付け根に沿わせましょう。(尿漏れを防ぐ堤防の役割をします)



パッドはオムツのギャザー内側にセット。パッドを重ねすぎると横漏れの原因に!

皮膚トラブル 予防のコツ

- オムツの中は気付かないうちに汗で蒸れています。汚れていなくても、1日1回は交換しましょう。
- 陰部はデリケートで熱さ・冷たさに敏感です。ぬるめのお湯で洗浄し、ゴシゴシこすらず、タオルで優しく拭きとりましょう。
- オムツが擦れたりゴワゴワしていないか、かぶれや床ずれなどが無いか確認しましょう。

編集後記

昨年11月に実施した出合いの広場事業で出会ったカップルより、成婚の報告がありました。平成25年からこの事業を開始し、成婚の報告第2号です。当社協より記念品を贈呈させていただきました。

心よりお二人の末永い幸せをお祈り申し上げます。おめでとうございます。(ち)

ご意見・問い合わせは

ホームページもぜひご覧ください!

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会 ☎678-0232 赤穂市中広267番地

電話 0791-42-1397 / FAX 0791-45-2444

E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp



赤穂市社協

検索